

村小だより

第11号

香美町立村岡小学校
令和8年1月7日(水)

学校教育目標「自らを磨き ふるさとを創る たくましい子どもの育成」
～ 笑顔・元気・チャレンジ ～

年は取るものじゃなく 頂くもの

第28回手帳大賞 大賞

「2026年版 名言・格言日めくりカレンダー」の1月1日の言葉です。私は、このカレンダーが大好きで、いい言葉に出会うと、その日1日が、とても気持ちよくスタートします。2026年(令和8年)、とてもいい1年のスタートを迎えたとワクワクします。

新年 あけまして おめでとうございます
今年も よろしく お願いします



始業式では、次のような話をしました。

新年明けましておめでとうございます。みんないい冬休みでしたか。
みんなの元気な顔が見られて、校長先生はうれしいです。
さて、今日はみんなに数字クイズを出したいと思いますので下でお話をします。

第1問 「2026」

第2問 「8」

8は漢字で書くと「八」。「八」は末広がりと言って、これからだんだんと前が開いていく。縁起がいいといわれます。令和8年は、楽しみですね。

第3問 「37」

最後の第4問は・・・難しいかも 「51」(49)

「51」は、3学期、あなた達(1～5年に向けて)が学校に来る日の合計です。「49」は、6年生が卒業するまでに来る日にちです。つまり、6年生にとって学び舎「村岡小学校」で過ごす日にちです。また、37人で一緒にいる日が「49」ということです。どうですか。この数字に対して「まだ」「もう」どちらの言葉があなた達には、心に浮かびましたか。最後に、校長先生の好きな数字は「3」です。

「3年先の稽古」 これは、お相撲さんの世界の言葉です。

「すぐに結果は出ないけれど、先を見通して一生懸命、稽古を積み重ねれば、きっと成果が表われる」という意味です。みんなには3年は長いと思うので、まずは、

「3ヶ月先の学習」。今から3ヶ月たつとどうですか。気付いた人もいますが、3ヶ月後、みんな次の学年に進級、6年生は進学します。3ヶ月先をみて、今、がんばるべき学習に一生懸命励みましょう。

努力できるのは、自分だけです。そして、努力にゴールはない!3学期、そして、令和8年という1年間、努力を積み重ねていって、いい年にしてほしいです。

あるがままに ～「自然服従」という考え～

精神科医の森田正馬さんの15の提言を記された本の中で、考えさせられた言葉です。

「服従」という言葉には、嫌な響きを抱きますが、彼の根底は「あるがまま」の肯定にあります。日本は4つの季節があり、折々の過ごし方があります。一方、砂漠が生活の基盤となっている人は、酷暑・水不足等における想像を絶する不便さの中で生きています。そこで生まれた子どもは、生まれた自然と環境を呪う術を知りません。精一杯生きるのです。環境と境遇をひとまずは受け入れ、その中でもてる限りの力を集中し、創意工夫する。環境と境遇を毛嫌いして逃げ出すのではなく、これが当座の自分の天地だと心決めて全力で生きていくことが、「自然服従」という考えです。過酷でつらくても、そこが人生の教室となります。環境は、生活に向き合い、技術、知識、知恵を学ばせてくれる教室です。忍耐と我慢、教を導いてくれる人と出会うありがたさ、人の優しさを学ぶこともできます。何のつらさもない境遇は学ぶ機会を与えてくれません。

私たちのふるさと「但馬」は、冬には「雪」と出会います。これから雪による厳しい寒さと向き合います。その厳しさを超えると暖かい春が待っています。この環境は、「辛抱強さ」という気質を育ててくれていると私は、思っています。寒さに負けず、まずは、行動。まっすぐ前を見て一歩一歩踏みしめて子どもたちとともに歩いていきたいと思えます。子どもたちの目は「雪」を見て、まぶしいくらい輝いています。その輝きが心に火を燃やしエネルギーとなることと思えます。



保護者の方や地域の方々にご理解・ご協力をいただき、いい1年になるようがんばります。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

(文責 校長 中田 齊)